

こと。

イ 健康安全の教育を徹底するとともに、強健な心身の基礎を養うこと。

ウ 自然および社会の事象について正しい関心をもたせて思考力の芽ばえを養い、また創造的な表現力を伸はすように配慮すること。

エ 幼稚園教育要領における健康、社会、自然、言語、音楽リズム、絵画製作の各領域は、相互に有機的な連関があり、実際に総合的に指導されるものであることを明示すること。

なお、領域の意義等については、教材等調査研究会においてさらに検討し、誤解や混乱の起らぬよう配慮を加えるようにすること。

オ 幼稚園における教育については、單に抽象的にその方向を示すだけでなく、できるだけ指導の各方面に関し、実際に指導すべき留意事項を具体的に明示して、能率的、効果的な指導ができるようにすること。

(3) 幼稚園教育が家庭教育と密接な関連

をもって行なわれるようすること。

幼児期における家庭教育は、幼児に対し非常に大きな影響力をもつことにかんがみ、幼児ひとりひとりについて家庭との連絡を密にして指導を行ない、いっそその

効果をあげるように配慮すること。

(4) 幼稚園における教育日数は、幼児の発達段階や土地の状況などについて特別の事情のある場合を除き、二二〇日以上が望ましいこと。なお、一日の教育時間については、幼児の心身の発達の程度や季節などに応じて適切に配慮する必要があること。

(5) 幼稚園教育課程の基準を明確に公示し、幼稚園教育の水準の維持向上を図ること。

幼児の教育 第六十二巻 第十一号

十一月号 © 定価六〇円

昭和三十八年十月二十五日 印刷
昭和三十八年十一月一日 発行

東京都文京区大塚町三五
お茶の水女子大学付属幼稚園内
編集兼

発行者 津守真

東京都文京区大塚町三五
お茶の水女子大学付属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。